



# ひろしま

# 気候変動適応センター



ひろしま気候変動適応センターでは、気候変動の影響や適応に関する情報収集、整理、分析を行い、県内の皆様が気候変動の適応を進めるためのサポートを実施しています。

## ◆業務内容

- 県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析
- 事業者や県民等への情報提供
- 地域適応計画の策定や適応の推進のための技術的助言
- 国立環境研究所気候変動適応センターや関係機関等との情報共有



(写真提供: 広島県)

## ◆センターについて

平成30年6月に公布された気候変動適応法（平成30年法律第50号）において「都道府県及び市町村は、（中略）気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行う拠点」を確保するよう努めるものと定められました。

これを受け、広島県では令和3年4月1日付けで、広島県立総合技術研究所保健環境センター内にひろしま気候変動適応センターを設置しました。

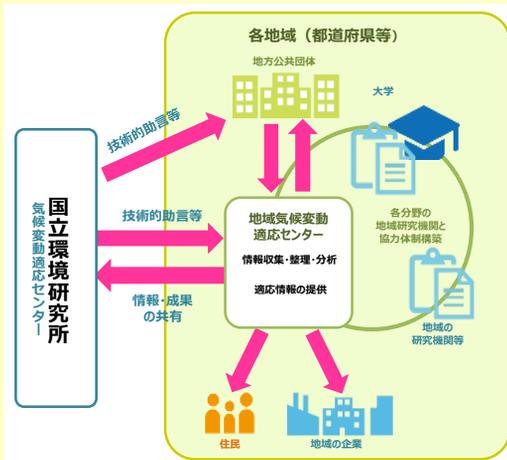
本センターでは、上記の業務を通じて、県内の市町や事業者、県民の皆様それぞれの、気候変動適応に関する取組の促進を目指しています。

その一例として、「ひろしま気候変動適応セミナー」を実施しています。事業者の皆様を始め県民の皆様にも参加して頂けます。

また、ホームページから広島県の気温の変化や大雨の予測、コメの収量予測等々、様々な『気候変動に関する情報』や『適応策に関する情報』の発信をしています。



### 地域気候変動適応センターの位置づけ



ひろしま気候変動適応センター

〒734-0007 広島市南区皆実町一丁目6番29号

TEL : 082-255-7145 FAX : 082-252-8642

E-mail : [hkckankyou@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:hkckankyou@pref.hiroshima.lg.jp)

HPアドレス : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/tekiou/>



# 温暖化対策には2つの取組が必要です。

私たちは日々の暮らしの中で温室効果ガスを大量に排出しており、そのことによって地球の平均気温は上昇を続けています。こうした地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。そこで「緩和」と「適応」、2つの温暖化対策への取組が必要となります。

## 緩和とは？

CO<sub>2</sub>を減らす



## 適応とは？

変化する気候に備える



### ■緩和

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が緩和です。

### ■適応

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応です。

## 温暖化による影響と適応策

日本において適応に取り組むべく、平成27年に「気候変動の影響への適応計画」が策定されました。そこでは、影響が既に生じているまたはその恐れがある主要な7つの分野（「農業・森林・林業、水産業」「水環境・水資源」「自然生態系」「自然災害・沿岸域」「健康」「産業・経済活動」「国民生活・都市生活」）が明示されています。



農業・森林・林業、水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活

## 今日からはじめよう！ 個人でできる適応の取組

これらは「適応」の一例です。

### ① 水を大切に使う！

温暖化によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもなります。



### ② 熱中症を予防しよう！

地球温暖化が進み、気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は、水をこまめに飲んだり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。

#### 熱中症の主な症状

1. めまいやほてり
2. 筋肉痛・筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい
5. 体温が高い、皮ふの異常



### ③ 自然災害にそなえよう！

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。



### ④ 虫刺されに気をつけよう！

気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった虫が、北上する可能性があります。例えば、デング熱という病気を広める蚊の住める地域が北に広がっていますので注意しましょう。

#### デング熱について

ヒトスジシマカという蚊が運ぶウィルスが原因となる病気です。2014年、代々木公園などで感染したと考えられる患者が発生しニュースになりました。温暖化が進むことによって、将来的に流行することが心配されています。

